

たくさん勉強したサマープログラム 2017

Henry Irawan
National University of Singapore
July 31 – August 10, 2017

この二週間のあいだ、私はさまざまなことを勉強しました。日本語Ⅱのクラスでアニメの「サザエさん」とサイレント映画から、リスニングを中心に文法や表現について学習しました。特に、このクラスでは古い表現と珍しい表現を聞くことができました。このような表現をこれまでに聞いたことがありませんでした。日本語Ⅱのすべての授業が終了したとき、私の日本語能力は以前よりも高くなったように感じました。それだけでなく、サイレント映画が題材だったとき、コンテキストと根底にある意味についても学習しました。日本のサイレント映画を初めて見て、興味がわきました。

聴講した講義も全部面白いと思いました。特に、一番面白いと思った講義は“**Democracy: desirable, but disappointing and in danger**”でした。さまざまな政府のタイプを学ぶことや、どの国が優れているかを考えることは私にとって面白い主題だと思いました。私たちの国の未来は私たちの責任ですから。

ほかのレクチャーについても、例えば、日本の農業技術についての講義はたいへん面白いと思いました。私は工学部の学生なので、このような技術に興味があります。そして“**What Does it Mean to Study Japan?: Past, Present, and Future**”と“**The Aesthetics and Sensitivities of the Japanese as seen through Classical Japanese Literature**”のレクチャーも興味深く聴講しました。歴史と文献の世界は深いと思います。これらは、目が開かされるようなレクチャーシリーズだと思いました。

書道のクラスもたいへん楽しみました。私は書道をしたことがなく、これはすごく興味深い経験でした。書道の技術や書道のマナーなどについて学びました。さらに、自分だけの書道作品を作り、良いお土産になりそうです。

そして、関西史跡・文化財見学では、大阪城を見ることができました。大阪城では様々な文化遺産を見ることができました。特に、私は鎧のデザインが好きなので、サムライの鎧を見てとても面白いと思いました。

京都大学での生活も楽しみました。京大の歴史は面白く、食堂の食事は美味しく、空気も綺麗でした。旅館での宿泊も楽しい経験でした。布団で寝たことや、和風なお風呂を使うことなど、日本人らしい暮らしを体験できました。特に、浴場を利用したのは初めてで、大きなお風呂を楽しみました。

まとめると、京都大学でのサマープログラムはたいへん面白い経験でした。将来、マスターコースに進学する際に、京都大学のマスターコースを検討したいと思います。